

会議等

1 定時総会

令和6年6月8日（土）、総会員390名中320名（出席者45名、委任状提出者275名）の出席を得て医師会館講堂にて開催し、次の事項について報告及び承認しました。

<報告事項>

- (1) 令和5年度大垣市医師会事業報告について
- (2) 令和5年度大垣市医師会補正予算について
- (3) 令和5年度公益目的支出計画の進行状況について
- (4) 令和6年度大垣市医師会事業計画について
- (5) 令和6年度大垣市医師会予算について

<決議事項>

- (1) 第1号議案 令和5年度大垣市医師会決算に関する件
- (2) 第2号議案 令和6年度大垣市医師会費に関する件
- (3) 大垣市医師会理事選任の件
- (4) 大垣市医師会監事選任の件
- (5) 大垣市医師会裁定委員会裁定委員選任の件

2 理事会

原則、毎月第2、第4火曜日を定例理事会の開催日とし、年間23回開催（2月1回開催）し、分担する本会業務について職務執行の状況報告を行いました。

3 監査会

令和6年8月20日、11月11日、令和7年2月3日、4月25日の4回開催し、事業報告及び財務諸表並びにこれらの付属明細書について監査を行いました。

事業等

I 地域保健医療の確保事業

1 休日救急医療体制及び災害救護体制の充実事業

急患医療センターの令和6年度の開設日数は72日、患者数は延べ2,230人（1日平均31.0人）となりました。

救急医療体制の充実のため、急患医療センター管理運営委員会を開催し、課題の検討を行いました。

災害医療体制の充実として、通信訓練に参加しました。

2 地域包括医療の推進事業

大垣市民病院との地域連携実績は、診察11,370件、検査791件で、1日平均、診察46.8件、検査3.3件となりました。

病診連携カンファレンスは、5月・8月・11月・2月の4回開催、内科系・外科系それぞれ1症例の解説と市民病院医師によるミニレクチャー、地域がん診療連携拠点病院研修会を実施しました。

クリニカルパスは、糖尿病、脳卒中、大腿骨頸部骨折、気管支喘息、緩和ケア、CKD（慢性腎臓病）、子宮頸部上皮内がん、甲状腺がん、狭心症、前立腺がん（内分泌療法）、前立腺がん（PSA）、C型肝炎ウイルス排除後、心不全のほか、県下統一パスである肺がん、肝臓がん、胃がん、大腸がん、乳がん、前立腺がんを合わせて19疾患を運用しております。

大垣市民病院開放型病床は10床、登録医療機関は141機関、登録医は医師と歯科医師合わせて、162人（内大垣市の登録医療機関64、登録医72）となりました。また、緊急緩和ケア病床の利用はありませんでした。

大垣市訪問看護ステーション、在宅介護支援センターの運営に協力しました。

大垣市在宅医療・介護連携推進事業では、在宅医療マップをデータ更新し、ホームページへの掲載、医療機関等に配布したほか、各職種間の専門的見地から支援や連携の在り方を学ぶ機会として、多職種連携研修会を7月10日、11月13日に開催しました。また、地域住民の方々に在宅医療について理解を深めて頂くために、9月に各地区センター等で「在宅医療の懇談会（わいわい会）」を開催しました。さらに、広く市民に周知するため、3月23日に市民公開講座を開催しました。

3 介護保険対策事業

大垣市の介護認定審査会委員に医師25人を派遣、11の審査会に医師2人がそれぞれ所属、介護認定を行いました。

令和6年度は延べ260回の審査会が開かれ、6,491件の審査を行いました。

4 特定健診・すこやか健診・特定保健指導の促進、協力事業

64医療機関の協力を頂き事業を推進しました。

特定健診未受診者のうち、生活習慣病で治療中の国保被保険者について、特定健康診査の査定項目に相当する検査情報を提供する特定健康診査情報提供事業に協力しました。

5 公衆衛生及び健康教育、各種健康管理事業の推進、協力事業

各種予防接種、母子保健事業の各種健診事業に協力しました。

胃がんリスク・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん及び肝炎ウイルス検診とその判定を行いました。

岐阜県広域化予防接種事業は、85医療機関に協力頂きました。

6 学校保健活動の推進事業

市内保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の校園医として90人の先生方に担当頂き、児童生徒等の健康管理、運動器検診にご協力頂きました。

大垣市教育研究所専門相談員として専門医を派遣しました。

7 産業医活動

西濃地区産業医研修会を令和6年9月28日、令和7年2月5日に開催しました。
西濃地域産業保健センターの運営に協力するとともに、産業医に関する企業からの相談に応じました。

8 大垣市との協議会の開催事業

大垣市保健医療関係者と連絡協議会を年3回開催し、医療、福祉関係事業等について協議を行いました。

II 会員福祉共益事業

1 医道倫理の高揚、医学・医術の研鑽事業

学術講演会、研修会を112回開催し、生涯教育の推進に努めました。

2 医療保険対策事業

保険医個別指導の立会、新規開業に伴う保険医自主指導等を実施しました。
県医師会主催の保険医講習の開催に協力しました。

3 広報活動事業

行政関係課と懇談会を開催し、各事業の課題の協議、連携を図りました。
市政記者クラブへの情報提供、懇談会を開催し、連携を図りました。
大垣市医師会報No.82を発行しました。

4 警察との連携事業

法医研修会（講師 岐阜大学大学院教授 道上知美先生）をハイブリッドで開催しました。懇談会を開催し、連携を図りました。
警察医（2人）、検視医（12人登録）を派遣しました。

5 医療安全、医事紛争対策事業

医療安全、医事紛争事例への個別相談に対応しました。
県医医療安全・医事紛争委員会との連携を図りました。

6 医療廃棄物の適正処理の指導事業

医療廃棄物の適正処理に向けた周知を行いました。

7 会員相互の懇談会並びに医業相談事業

新年会、市民病院医師との懇談会（納涼の夕べ）を開催しました。
医業に関する個別相談、各種申請手続き方法等について対応しました。

8 医療情報ネットワークの構築事業

ICTを活用し、Web 配信による講演会や研修会を開催しました。

9 福祉医療、福祉事業、障害者事業等への協力事業

牧野華園等福祉施設入所者の健康管理に医師を派遣、また、福祉事業、障害者事業に協力しました。

10 西濃地区医師会との連携事業

西濃地区会長会議を年間 11 回開催、西濃医学会の事業運営等を協議しました。
動く県医、保険医講習の開催、運営に協力しました。

III 看護教育事業の推進

1 大垣市医師会看護専門学校の管理運営、閉校に向けた準備

令和 6 年度入学生 28 人、卒業生 34 人、看護師資格取得 33 人となりました。
閉校までの運営経費等について研究しました。

2 大垣市医師会准看護学校の管理運営、事業継続に関する調査研究

令和 6 年度入学生 33 人、卒業生 36 人、准看護師資格取得 36 人となりました。

3 看護制度に関する調査研究事業

看護教育事業の課題について調査研究しました。